

## 世界とのつながり ～日本で生きる自分と世界で生きるあなた～

所属	三重県いなべ市立藤原中学校	実践者	児玉 恵理
対象	中学校2年生	時間数	6時間
場所	教室	実践教科	英語
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他国と肯定的に出会い、その国や日本の良さに気づく。</li> <li>・世界と自分(日本)がどのように関わっているかを知る。</li> <li>・日本で生きる自分と、世界で生きるあなた、自分の可能性やこれからについて考える。</li> </ul>		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	① 「アフリカのイメージは？」(ペアで) ② これって何？エチオピアと日本の違い(班対抗) ③ エチオピアと日本のつながり、それぞれの国の魅力を知る	・スライド、ペン ・Teddy Afro の音源、デッキ ・ワークシート
	2	① Why do you study? なんで勉強するの？(勉強の役割、自分の役割) 【派生図】 ② 自分なりの考えを班で交流した後、エチオピアでインタビューしてきたアンケート、写真、動画をスライドで見る。 ③ 自分なりの思いや理由を英語で書く。 ④ 感想を書いて発表。	・中学生のアンケートとエチオピアでのアンケート・インタビューのスライド ・B4の紙とペン ・ワークシート
	3	① 世界にはどんな仕事があるのか考える。	・スライド
	4	② エチオピア研修で出会った5人の生き方について読みとる。	・ワークシート、5人の写真
	5	③ 読みとった内容を班で交流する。【他者紹介】 ④ What is your dream? / What do you want to do?(将来について考える) ⑤ 自分の「将来」を英語で書く。 ⑥ 発表会を行う。	
	6	① 世界とのつながりを知ろう。 ② 昨日の夜ごはんは？(ペアで) ③ チョコバナナ、お好み焼きは「どこから？」「何から？」 【ブレインストーミング】 ④ 「植物油脂」＝「パーム油」世界とつながっている私たち(日本) ⑤ パーム油のいいところと問題点 ⑥ 感想を書いて交流。	・B4の紙とペン ・どうなってるの？世界と日本 ・パーム油についての資料、スライド ・感想用紙
成果	日本以外の国に興味を持って楽しそうに授業を受けていたのが印象的である。また、世界の人の生活やその様子を紹介したことで、日本に住む自分の生活を振り返ることができ、「自分にできること」や「自分のこれから」について考えることが出来ていたのが良かった。		
課題	授業時間を十分に取る事が出来なかった。また、英語の時間しか取れなかったので内容が英語の授業に少し偏ってしまうことがあった。研修で教えていただいた手法をあまり使えなかったため、これからはもっと使っていき、練習していきたいと思う。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像や音楽があると生徒は興味を持つので、資料をしっかりと準備しておく。</li> <li>・学校の家庭の教科でもフェアトレードについて学ぶそうなので、連携して授業をしていけるといい。</li> </ul>		

## [授業実践の詳細]

### 1 時限目「エチオピアについて知ろう」

#### この時限のねらい

- ・エチオピアと肯定的に出会う。
- ・エチオピアと日本のちがい、共通点を知る。

### 1 児童生徒の活動の流れ

- ① ホットポテトでウォーミングアップ(二人組に消しゴム一つでお題について一言言っていく)  
お題は「アフリカのイメージ」！たくさん言えた人の勝ち！
- ② 班対抗「エチオピアクイズ」(文化、生活の様子、伝統の踊り)
- ③ エチオピアに触れよう！(お金、コーヒーセレモニーグッズ、テフ粉、帽子やスカーフなど)
- ④ 授業で分かったこと、感想を書く。

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 教師が撮ってきた写真をクイズ形式で見せることで興味を持つことができ、班員と相談しながら楽しくエチオピアについて考えていた。また、日本とエチオピアのちがいについても興味津々な様子だった。
- ◇ エチオピアの同じ世代の子の様子を見て、日本の様子との違いにも驚いていた。
- ◇ 実物に触れることでエチオピアを身近に感じているようだった。

#### What's this?



#### 【生徒の感想】

- ・エチオピアの場所も知らなかったけど、生活の様子を知ることができて良かった。
- ・同じくらいの年の子でも、学校に行けず働いている人もいるんだと知らなかった。  
学ぶことができるんだからちゃんと勉強しようと思う。
- ・エチオピアの伝統的な踊りを見ることができて面白かった。インジェラの味が気になった。

### 3 使用した教材

- <教材1> エチオピアで撮影してきた写真・ビデオ(パワーポイント)  
(トイレ、主食、踊り、ワニ、トヨタの車・電化製品など)

## 2 時限目「Why do you study?」

### この時限のねらい

- ・世界の人々のインタビューから「なぜ勉強するのか」について考える。
- ・色々な人の生き方を知り、自分なりの生き方について考える。

### 1 児童生徒の活動の流れ

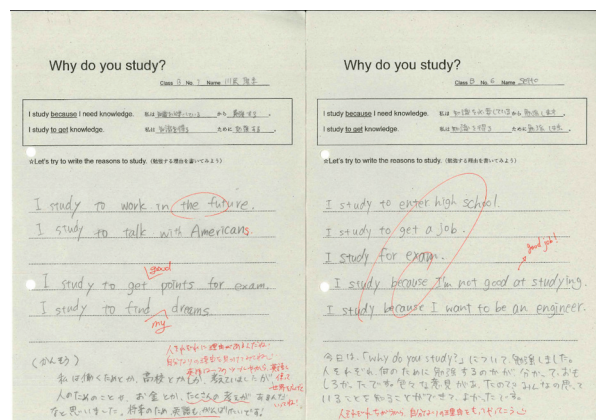
- ① 「Why do you study?」について班でそれぞれの意見を出し合う。【派生図】  
→班で交流し、様々な理由があることに気が付く。
- ② 空港やエチオピアで撮ってきたインタビュー内容を見る。  
→英語からどんなことを言っているかを想像する。  
→自分たちが出した意見とどう同じか、異なるかを見つける。
- ③ いろいろな人の理由を聞き、自分の理由について考える。  
→「～するために」と英語で理由を書く。  
→インタビューを見て感じたこと、自分で考えたことについて書く。

### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 「なぜ勉強するのか」という質問に困っている子が多かった。特に多かったのは、「受験のため」「将来のため」という理由。
- ◇ インタビューの内容を見て、自分たちの意見と全然違うことに驚いていた。
- ◇ いろいろな考えがあり、価値観の違い・考え方の広さを感じているようだった。
- ◇ 2年生の進路指導でちょうど将来について考えていた時だったので、関連して自分について考える良い機会となった。

### 【生徒の感想】

- ・人それぞれやっぱ違うなと思った！
- ・人にはいろいろな夢があるし、育ってきた環境も違うからこそ夢もたくさんあると思う。一つひとつ、一人ひとりの夢を大切にしたい。
- ・自分の中で考えていたことと違う意見がたくさんあり、面白かった。将来の夢を持っている人が多くて、とても良いと思った。
- ・勉強が嫌だと思うことは毎日あるけど、嫌なことや苦手なことに立ち向かって乗り越えれば楽しいことが待っている。そんな「目的」のためにやっているんだと気がきました。



### 3 使用した教材

- ＜教材2＞ 教師が撮影してきたインタビュービデオや写真(パワーポイント)  
( Why do you study? / 日本の子どもたちへ、出会った人たち、JICA 職員)

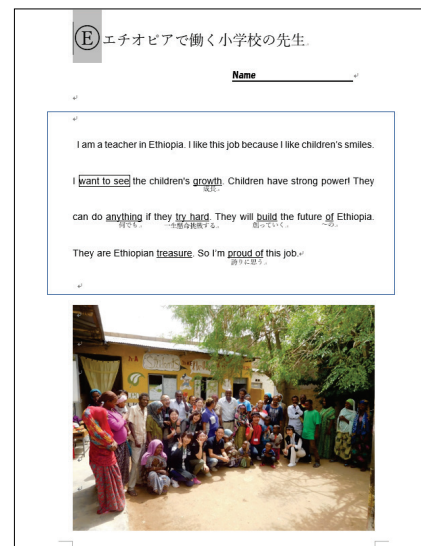
## 3-5 時限目「My Dream」

### この時限のねらい

- ・様々な人の生き方を知り、自分の将来像や将来の夢について考える。
- ・世界に目を向け、さまざまな状況があり、色々な仕事があることを知る。
- ・自分の将来について考え、進路指導につなげる。

### 1 児童生徒の活動の流れ

- ① ホットポテト(英語で「職業」について)ペアで交流。
- ② 生徒が知っている職業を出す。ALT にも紹介してもらい日本であまりなじみのない職業について知る。
- ③ 教師が出会った5人の紹介文を英語で読みとる。(班で)
- ④ 英語で読みとった内容を日本語でメモし、その内容を他の班員に伝える。【他者紹介】
- ⑤ 5人の生き方を聞き、自分の未来について考える。
- ⑥ 考えた「これから」について英語で書く。授業の感想を書く。→交流しあう
- ⑦ 自分の「My dream ( Mu future)」について英語でスピーチを書く。
- ⑧ スピーチ発表会をする。



### 2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 世界にはたくさんの仕事があることに興味を持っていた。
- ◇ 住んでいる環境や状況は、生活に大きく影響しているということに驚いていた。
- ◇ 一生懸命に生きている姿から自分の将来についても考えていた。
- ◇ 自分の生きている環境から、自分の可能性感じ、恵まれていることに感謝をしているようだった。

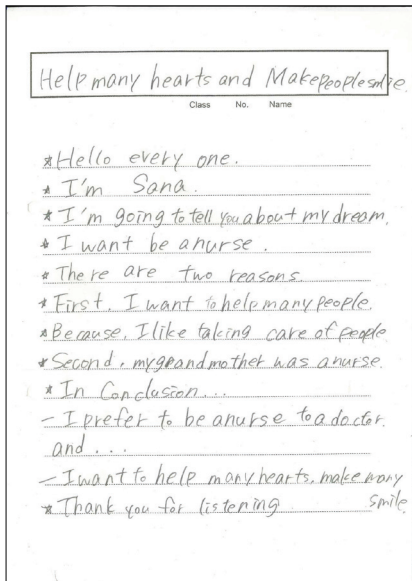
#### 【生徒の感想】

- ・勉強することはとても大切なんだと思いました。
- ・夢をあきらめずに、挑戦したり、仕事に誇りを持つことなどもとても大切なんだと感じました。
- ・目標に向かい頑張る人や誰かのために頑張る人の文を読み、私も目指していかないと考えた。
- ・楽しいこと、好きなことだけが職じゃない。未来をつくる。誇りに思えるようなことが仕事と言っていて私も好きだからとやるんじゃない。何か大きな目標を持ってやっていきたいし、自分の仕事が誇りに思えるようにしたい。



## 【スピーチ文】

Hello, everyone. I'm ○○. I'm going to tell you about my dream. I want to be useful to other people. I have two reasons. First, I don't have any dreams. But I want to make money by myself. In conclusion, I want to be useful to other people. Then I'll study hard to find dreams. I want to try. Thank you for listening.



## 3 使用した教材

<教材3> 教師が撮ってきた写真、インタビュー内容(ワークシート)  
(JICA 職員、シニアボランティア、エチオピアの少年、小学校の先生、等)

## 6 時限目「世界とのつながり」

## この時限のねらい

- ・自分に身近なもの、食べ物等が世界とつながっていることを知る。
- ・普段何気なく買っている商品の背景について思いを馳せる。

## 1 児童生徒の活動の流れ

- ① ホットポテト「昨日の夜ごはんは？」ペアで出し合う。
- ② 初詣での出店のメニューは「何から？どこから？」班で出し合う。【ブレインストーミング】
- ③ みんながよく食べるお菓子の袋を渡し、品質表示を見る。そこからどの製品にも共通して入っているものを見つけ交流する。→「植物油脂」
- ④ パーム油(植物油脂)についてパワーポイントで説明。何気なく食べているものが世界とつながっていることを確認する。



### 3 使用した教材

<教材4> パーム油を紹介するパワーポイント

<教材5> 独立行政法人 国際協力機構 『どうなってるの？世界と日本』

<教材6> 「危ない油 パーム油のリスク 知っていますか」 <http://plantation-watch.org/palmoil/>

## ■ 全体を通して

---

### 1 授業の様子

エチオピアに行って一番したいと思っていた授業は「世界に目を向け、自分について(日本も)知る」ということだった。エチオピアを通して他国のことについて紹介し、日本のいいところはもちろん、他国とのちがいや魅力について伝えることができた。また、エチオピアに行った際に出会った人々の生き方を紹介することで、生徒たちは自らの将来や生き方について考えるきっかけになったと思う。中学校では卒業することで義務教育を終え、自分の進路を決めていかなくてはいけないので、2年生という時に世界の人々の姿から進路指導につなげることができて良かった。しかし、英語の授業を通して行ったため、生徒が本音の本音まで気持ちを出したり交流したりはできなかったと思う。引き続き、国際理解教育・開発教育を行っていきたい。

### 2 参考文献・資料

- 1) 2017年度 開発教育指導者研修(実践編)第1回 資料2, 3, 4
- 2) FAIR spirits FAIRTRADE CHANGE THE WORLD Free
- 3) JICA ホームページ <https://www.jica.go.jp/>